

令和6年度五個荘地区文化祭参加講座

地域ゆかりの高僧 雲居希膺

日時 令和6年11月8日(金曜日) 午後1時～午後2時頃

講師 観峰館学芸員 寺前公基先生

場所 五個荘コミュニティセンター 大ホール

TEL 0748-48-2737

小幡デコを守る運動の一貫として、同時に小幡デコの
展示会を行います。



石馬寺中興の祖、雲居希膺を、
学びましょう

☆ 発熱・風邪症状のある方は、ご参加
をお控えください。

☆ 筆記用具はご持参ください。

石馬寺中興の祖

雲居(ウソゴ) 希膺(キヨウ)

石馬寺ホームページの、「石馬寺の歴史」には、“石馬寺は聖徳太子の建立以後、法相宗、天台宗と転宗し、近江源氏である佐々木氏の篤く帰依するところになりました。

しかし永禄 11 年(1568 年)、織田信長の上洛に抵抗した佐々木承禎との戦いによる戦禍を受け、伽藍や院坊のことごとくが信長による兵火に遭い、昔日の壮観を二度と見る事が出来なくなりました。

さらに、豊臣氏が天下を取ると寺領及び山林を没収され、山主や僧徒は退散を命じられたのです。

慶長 8 年(1603 年)、徳川氏により「石馬寺」が復興。

寛永 11 年(1634 年)、3 代将軍家光公上洛にあたり、旧神崎郡能登川町(現東近江市)に造営された御茶屋御殿(伊庭御殿)を移築して大方丈としました(旧本堂)。

そして、正保元年(1644 年)11 月、宮城県松島にある瑞巖寺の雲居国師を中興祖として招き、臨済宗妙心寺派の寺院として現在に至ります。〃と、雲居希膺を紹介しています。

[当文章の “ 〃 内は、許可を得て、御都織山 石馬寺のホームページの「石馬寺の歴史」より引用させて頂きました。]